

平昌冬季パラリンピック代表

高村和人選手が抱負語る



Kazuto Takamura

高村 和人（たかむら かずと）  
田沢湖生保内出身。35歳。  
岩手県立盛岡視覚支援学校教員。  
2011年にパラノルディックスキーを始め、  
2015年から日本の強化B指定選手としてワ  
ールドカップや世界選手権を転戦。2016年のア  
ジアカップ視覚障害距離でミドルフリーとス  
プリントクラシカルの2種目を制した。

3月9日に韓国で開幕する平昌冬季  
パラリンピックのノルディックスキー  
距離とバイアスロンの男子日本代表に  
選ばれた仙北市出身の高村和人選手  
が、1月23日に市役所田沢湖庁舎を訪  
れ、門脇市長に抱負を語りました。

高村選手は、生保内小学校5年生の  
時、進行性の難病「網膜色素変性症」  
と診断され、視力をほとんど失いまし  
た。中学校卒業後は、岩手県内の高校  
に進学しましたが、視力が悪化し、岩  
手県立盲学校高等部（現盛岡視覚支援  
学校）に転入しました。

現在は、同支援学校の教諭として、  
生徒たちに『はり・きゅう、マッサージ』  
の技術を教えています。

代表に選ばれたことについて高村選  
手は「正式に決定してほっとしている。  
幼い頃、生保内公園で遊んだ記憶が懐  
かしく、基礎体力を養うことができた。  
これまで周りの人の協力でスキーがで  
きて、とても感謝している。出場する  
からには、表彰台をめざしたい。すべ  
ての思いをパワーに変えて最後まで滑  
り抜く」と決意を語りました。

第58回  
交通安全国民運動中央大会  
神代小学校が交通安全  
優良学校全国表彰



市役所田沢湖庁舎に受賞報告に訪れた井上校長（中央）。

1月19日、東京都で「第58回  
交通安全国民運動中央大会表彰  
式」が開催され、神代小学校が  
長年にわたる特色ある交通安全  
教育の実績が認められ、交通安  
全優良学校（秋田県から1校）  
として全国表彰されました。

神代小学校は11月まで4年生以  
上が自転車通学をしている数少  
ない小学校です。そのため、交  
通事故防止を目的として、角館  
自動車学校のコースを借りての  
体験型交通安全教室や自転車運  
転技能の向上・確認のため、公  
道を使った実施型交通安全教室、  
自転車通学を見据えた3年生の

自転車検定等を行い、長年交通  
事故ゼロの記録を更新してきた  
ことが評価されたものです。

同表彰式に出席した井上一彦  
校長は「今回の受賞を大変うれ  
しく思います。長年にわたる学  
校の取組は、仙北警察署をはじ  
め、交通安全協会、安全運転管  
理者協会、交通安全母の会、P  
TA校外指導部など関係機関の  
ご指導とご協力が支えとなつて  
おり、皆さまに深く感謝いたし  
ます。今後も交通事故ゼロの神  
代小学校を目標に日々努力して  
いきたいと思えます」と話して  
いました。

佐竹北家の料理

学校給食で『御狩場焼』を味わう



御狩場焼の美味しさは児童たちに好評でした。

1月24日から30日までは、学校給食の意義や役割につ  
いて理解を深める『全国学校給食週間』となっています。

市内全域の小中学校の給食では、1月24日に佐竹北家  
ゆかりの料理「御狩場焼」が振る舞われました。

御狩場焼は鶏肉に山椒みそを付けて焼いた料理で、江戸時  
代に佐竹北家の殿様が狩猟の際に食べたといわれています。

この試みは、子どもたちに地元で伝わる食文化に親しんで  
もらおうと、昨年から行われているものです。

角館小学校（写真）では、御狩場焼を食べた児童たちが、  
満面の笑顔で「とっても美味しい」と味わっていました。

食の安全を学ぼう

1月24日、就業改善センターで「食の安全  
講座」を開催し、農産物加工や直売を行って  
いる方々が多数参加しました。

第1部は食品の安全のため「手洗い教室」を  
行い、正しい手洗い方法を学びました。手洗い  
前後のばい菌の数値に驚きながらも、普段の手  
洗いを見直すきっかけとなったようです。

第2部では県庁の出前講座を利用した「食品  
の表示」についての講義があり、法改正による  
変更点やさまざまな食品の表示手順の知識を得  
るよい機会となりました。



正しい手洗いの方法を学ぶ参加者。



演奏する黒澤さん（前列中央）。

津軽三味線ロビーコンサート

1月28日、仙北市民会館でロビーコンサート「黒澤  
博幸の世界」が開催され、約100人の観客が訪れました。

津軽三味線奏者の黒澤博幸さんは、津軽三味線全国大  
会で3連覇するなど、第一線で活躍されていて、今回は  
そのお弟子さんからなる黒澤会の皆さんと一緒に演奏を  
披露しました。

コンサートでは、津軽じょんから節など21曲を披露  
し、三味線の華やかな音色がロビーを包み込みました。  
また、曲と曲の間の黒澤さんの軽快なトークに笑い声  
が起きるなど、訪れた観客を終始魅了しました。

仙北市交通指導隊

研修会・観閲式・交通安全祈願祭



1月14日、グランデールガーデンで「仙北市交  
通指導隊研修会・観閲式・交通安全祈願祭」を開催  
しました。

研修会は、交通指導隊員に必要な知識の習得を、  
交通安全祈願祭は、今年1年の交通事故撲滅と飲酒  
運転徹底追放を願い毎年開催しているもので、昨年  
に引き続き観閲式も併せて行われました。

研修会では、仙北警察署交通課の柳館康典係長を  
講師に迎え、交通指導の注意点などについての講話  
が行われました。交通安全祈願祭では、門脇市長、  
仙北警察署の富樫司署長、仙北地区交通安全協会の  
稲田修会長などとともに、市内での交通事故撲滅を  
祈願し、隊員全員がより一層交通安全推進に励むこ  
とを誓いました。

# 2018 FIS フリースタイルスキー ワールドカップ 秋田たざわ湖大会

3 / 3 sat 4 sun

FIS FREESTYLE SKI WORLD CUP Supported by TDK

FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会がいよいよ始まります。2月28日から各国の選手団が続々と田沢湖入りし、3月1日と2日には公式トレーニングが行われます。4回目となる今回も世界各国から選手がエントリーしていて、白熱したレース展開になること間違いなし。3月3日・4日は世界トップアスリートの滑りをぜひ観にいらしてください！

FIS フリースタイルスキーワールドカップ 秋田たざわ湖大会 組織委員会事務局 (仙北市教育委員会 スポーツ振興課内) ☎ 43-3390 大会公式 HP http://www.akitamogul.com/

## 3/3 土 Mogul モーグル 予選・決勝

- 9:00 公式トレーニング (女子)
- 9:45 モーグル女子予選
- 10:50 公式トレーニング (男子)
- 11:35 モーグル男子予選
- 12:50 決勝進出者公式トレーニング (男女)
- 13:30 モーグル女子決勝 (16人)
- 13:55 モーグル男子決勝 (16人)
- 14:25 モーグル女子決勝 (6人)
- 14:35 モーグル男子決勝 (6人)
- 14:50 表彰式 (ゴールエリア)

昨年に引き続き、元日本代表・上村愛子さんもアンバサダーとして大会を盛り上げてくれます！

## 3/4 日 Dual Mogul デュアルモーグル 予選・決勝

- 10:40 公式トレーニング (男女)
  - 12:00 デュアルモーグル男女予選
  - 13:30 デュアルモーグル男女決勝 (16人)
  - 14:50 表彰式 (ゴールエリア)
- ※スケジュールは変更する場合があります

## 出場予定の注目選手



**堀島 行真** HORISHIMA Ikuma (JPN)  
昨年3月の世界選手権で初出場ながらモーグル、デュアルで2冠を達成。また、今年1月に行われたワールドカップ第7戦で開幕6連勝中だった絶対王者キングズベリーを破ってワールドカップ初優勝を飾った。今大注目の日本の若手に期待がかかる。



**村田 愛里咲** MURATA Arisa (JPN)  
昨年はソチ五輪での怪我のブランクもあり本調子ではなかったもののアジア大会ではデュアルモーグル優勝と少しずつ調子を上げてきている。女子選手の中ではあまり使用することが少ない得意の技バックフルで世界の強豪に立ち向かう。



**ミカエル・キングズベリー** KINGSBURY Mikael (CAN)  
現在、ワールドカップの優勝記録を更新し続けている絶対王者。6年連続総合優勝と前人未踏の記録を持っている。そのキングズベリーに対して日本選手がどのように挑んでいくのか楽しみでもある。



**ジェイリン・コウフ** KAUF Jaelin (USA)  
昨年の秋田たざわ湖大会デュアルモーグルでワールドカップ初優勝。その勢いを今シーズンも維持し、第7戦を終えた時点でワールドカップランキング1位。一気にブレイクした彼女の滑りから目が離せない。

## 日本文化を体験 韓国青年訪問団が仙北市を訪問



樺細工体験でコースターづくりに励む韓国の高校生。

1月19日から23日にかけて、韓国青年研修団(大学生34人、高校生34人)が仙北市を訪れました。一行は、市内の農家民宿に宿泊し、雪遊びや上桧木内の小正月行事で使用される紙風船の絵付けをしたり、樺細工体験やあきた芸術村で踊り体験を楽しんだりしました。また、仙北市と大曲農業高校が連携協定を締結している縁で、高校生同士による学校交流が行われ、生徒たちは、調理実習を通じてコミュニケーションを図りながら、ロールケーキや豆腐作りに挑戦しました。



西明寺小学校の荒川校長(左)と美術担当の佐川教諭(右)。

## 第29回MOA美術館全国児童作品展 西明寺小学校が文部科学大臣賞受賞

1月28日、公益財団法人岡田茂吉美術文化財団主催の「第29回MOA美術館児童作品展」で、西明寺小学校の作品が団体の部で、文部科学大臣賞学校奨励賞を受賞しました。この賞は、全国で6校が選ばれたもので、秋田県からは1校となります。荒川憲二郎校長は「本校は美術に力を入れ、校舎内を創作意欲があふれる子どもたちの作品で満たしてきました。今回の栄えある受賞を励みに、夢ある子どもたち一人ひとりに、豊かな感性を培っていききたい」と話しました。



平成30年全国広報コンクールへの推薦が決定した「広報せんぼく」(12月16日号)。

## 広報せんぼく 全国広報コンクールに 推薦決定!

このほど、広報せんぼく12月16日号が「平成30年全国広報コンクール」に推薦されることが決定しました。県内の市町村から2作品選ばれたものです。仙北市は昨年「写真の部」で県推薦を受けており、今年も「写真の部」で県推薦を受けました。12月16日号は、表紙から一連の流れとなる「仙北市独自のテーマ「田沢湖」と「クニマス」に焦点をあてた特集号。昨年、田沢湖クニマス未来館が完成し、里帰りの第一歩を果たした「クニマス」。

この号を編集するにあたり、田沢湖の歴史を振り返り、昔の田沢湖を知る方々の思いや貴重な資料などを紹介することができました。読み応えがあり、特集の意図をうまく伝えられたことで、審査員から高い評価をいただきました。